

がん治療用ウイルス G47Δ 製剤「デリタクト®注」新発売のお知らせ ～東京大学医科学研究所 藤堂教授と共同開発、第一三共株式会社に製剤供給～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫、以下「当社」）が、東京大学医科学研究所 藤堂具紀教授（以下「藤堂教授」）と共に商用製造工程の開発を進めてきたがん治療用ウイルス G47Δ（*1）製剤「製品名；デリタクト®注」（一般名：テセルパツレブ、以下「本品」）について、本日、第一三共株式会社が国内での販売を開始しました。当社は、第一三共株式会社から委託を受けて本品を製造し、本年10月に出荷開始しました。2021年度当社連結業績への影響は精査中です。

本品は、がん治療用ウイルス G47Δ 製剤であり、悪性神経膠腫を対象として世界で初めて承認されたがん治療用ウイルス製剤です。本品は生きたウイルスそのものを製剤化したものであるため、その製造には、大規模なウイルス培養技術や特殊な試験技術の確立が必要であり、長年に亘りウイルス感染症ワクチンとウイルス検査試薬の開発・製造を行ってきた当社の技術やノウハウが十分に活かされています。当社は、本品の商用製剤供給を通じて、アンメット・メディカル・ニーズ（未だに有効な治療法がない医療ニーズ）が高い悪性神経膠腫における新たな治療の選択肢を提供することで、医療の発展に貢献できるものと考えております。

当社は、国内医療機関からのニーズに確実に応えて、安定供給を実現するとともに、本品の製造工程開発で得た技術・ノウハウを活かして、ウイルス製剤等の医薬品製造開発受託企業（CDMO - Contract Development and Manufacturing Organization）としてのプレゼンス確立・拡大に向けた取り組みを推進いたします。

当社は、今後も SDGs を羅針盤に、誰よりも上手にできる仕事で全ての人がより良く生きる世界をつくる、社会にとってかけがえのない企業を目指してまいります。

（*1） G47Δとは

藤堂教授らにより創製されたもので、がん細胞でのみ増殖可能となるよう設計された人為的三重変異を有する増殖型遺伝子組換え単純ヘルペスウイルス 1 型（第三世代がん治療用単純ヘルペスウイルス 1 型）です。

（*2） 悪性神経膠腫とは

神経細胞の支持組織であるグリア細胞から発生する原発性脳腫瘍である神経膠腫のうち、悪性度が高い grade III と grade IV のことを指し、国内における罹患数は年間約 2,800 人程度と推定されます。

※「デリタクト」は第一三共株式会社の登録商標です。

【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社ホームページ）】

・2015年5月12日 「がん治療用ウイルス製剤「G47Δ」実用生産の開発受託に関するお知らせ」

http://www.denka.co.jp/news/pdf/20150512_G47.pdf

- ・2016年7月21日 「がん治療ウイルス製剤「G47Δ」製造設備建設に関するお知らせ」
http://www.denka.co.jp/news/pdf/20160721_G47.pdf
- ・2017年10月6日 「がん治療ウイルス製剤「G47Δ」製造設備を竣工」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/494/20171006_g47delta_jpn.pdf
- ・2021年1月5日 「がん治療用ウイルス G47Δの製造販売承認申請について」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/807/20210105_denka_G47.pdf
- ・2021年6月11日 「がん治療用ウイルス G47Δ製剤「デリタクト[®]注」の国内製造販売承認について」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/877/20210611_denka_G47.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

【医療関係者からのお問い合わせ先】

ライフイノベーション部門 ウイルス製剤部 電話：03-5290-5523